



ことばの大切さについて

梅雨に入り、心も身体もすっきりしないことがあるかもしれません。でも気持ちだけはさわやかに過ごしたいと思う今日この頃です。校内に飾ってある紫陽花を見て「わあ、きれい。」と思わず口にして
いる児童、飼育しているメダカや金魚を見て「かわいい。」とつぶやいている児童、そんな場面を目にする度に心にさわやかな風が吹くような気がします。

さて、今年度は「ことばを大切に」と子どもたちによびかけています。先日の朝会で「ことばのドッジボール」と「ことばのキャッチボール」の話をしました。以下に掲載しますので御一読ください。

今日は「言葉のドッジボール」と「言葉のキャッチボール」についてみなさんと考えていきたいと思います。みなさん、ドッジボールって知ってますか？相手をねらってボールを投げたり、ボールに当たらないように取ったり、逃げたりするゲームですね。では「言葉のドッジボール」ってどんなものなのでしょう。

みんなで集合して出発する場面でのAさんとBさんの会話です。

A「おそいよ、はやくしてよ。」

B「べつにいいじゃん」

A「なにやってるの」

B「うるさな、関係ないだろ」

A「おくれたくせに」

B「うるさい。だまれ」



AさんもBさんもイライラしていますね。なんだか心がトゲトゲして嫌な気持ちになってきます。

では、「言葉のキャッチボール」にするとどうなるのでしょうか。

A「Bさんどうしたの？はやくならんで」

B「ごめんごめん。おくれちゃった。」

A「みんな出発できないから、今度は早く来てね。」

B「うん。分かった。待っていてくれてありがとう。」

A「いいよ。大丈夫。」



こんな言葉のキャッチボールだったらイライラすることはありませんね。

いちばん簡単な言葉のキャッチボールは挨拶です。「おはよう」と挨拶されたら「おはよう」と返しますね。それから「〇〇さん」と名前を呼ばれたら「はい」と返事をするのも言葉のキャッチボールになります。

キャッチボールは（やったことのある人はよく分かると思いますが）上手な人ほど、取ったり投げたりが何回も続きます。キャッチボールのコツってなんでしょう？「相手を想い、取りやすいボールを投げること」だそうです。相手のことを想ってボールを投げ、相手も飛んできたボールをしっかりキャッチする。みなさんは上手に言葉のボールを投げていますか。ドッジボールのように相手が取れない強いボールを投げては上手くいきません。また、友だちが投げた言葉のボールをそのままスルーしたらキャッチボールになりません。しっかりキャッチし、友だちが取りやすいところに言葉のボールを返してください。

「相手を想って、取りやすいところに言葉のボールを投げる。」

「ボールがとんできたら、しっかりキャッチしてまた投げる」この繰り返しです。

考えてみたら、サッカーやバスケット、ラグビーのパスや、卓球やテニスでラリーも同じだなと思いました。何が同じかというと「相手のことを想うこと」です。みなさんも、いつも、相手のことを想うことを忘れないでください。そして言葉を大切に毎日過ごしてください。

朝会の話を受けて、それを子どもたちが自分事として捉え、考えて感想を書いてくれました。一人一人が、言葉について真剣に考えてくれたことが本当に嬉しかったです。

ありがとう。



